

実践農家の取り組み事例
太陽熱養生処理と土づくり
緑肥の活用効果



参加費無料

先着

40名様

有機栽培が未経験の方
もお気軽にどうぞ！

相模原市 有機栽培技術勉強会 + 圃場視察会

経営にオーガニック を取り入れる

人参の有機栽培に取り組む実証圃場を題材とした勉強会です。前半は実証圃場の視察もおこないます。有機栽培が未経験の方でも、お気軽にお申し込みください。

日時

2023年11月9日(木)13:00～16:30

前半:実証圃場見学会 13:00-14:45(会場:各圃場 相模原市緑区内)

後半:勉強会 15:00-16:30(会場:市立青和学園体育館2階ミーティングルーム)

場所

市立青和学園体育館2階ミーティングルーム
(相模原市緑区青野原1250-1)

※前半の圃場視察会は、相模原市緑区内の実証圃場を巡回します。

お申し込み

右記の二次元バーコードよりフォームに必要事項をご記入のうえ、お申し込みください(定員40名・先着順)



会場：市立青和学園体育館

(2階ミーティングルーム)

相模原市緑区青野原1250-1

前半の圃場視察会は、相模原市緑区内の2箇所の実証圃場を巡回します。詳しい番地や集合場所は、お申し込みの方にご案内します。

※車での移動が前提となりますので、自家用車でご参加ください。
※セミナー内容に関する会場へのお問い合わせはご遠慮ください。



経営にオーガニックを取り入れる 実践農家の取り組み事例 太陽熱養生処理と土づくり等

9月に実施した緑肥の講習会に続き、今回は「経営にオーガニックを取り入れる」をテーマに、2名の市内生産者から実体験に基づく取り組み事例を共有していただきます。実証圃場の視察も通じて、太陽熱養生処理前後の土の変化や、緑肥の活用効果などの事例もお話します。

- ・トマトは減農薬栽培、それ以外は有機栽培で取り組む吉見敦司さん
- ・慣行栽培で経営を確立しているなかで一部有機栽培を導入した春田耕平さん



吉見 敦司 氏

大学卒業後、愛知県の農業生産法人で主にトマト栽培に携わる。2007年に相模原市緑区青根にて新規就農(17年目)。栽培面積は、施設野菜(トマト)20a、露地野菜(ニンジン、コマツナ、ホウレンソウ等)1.5ha。

「厳選した有機肥料とミネラル肥料を使って、作物が健康であることを大事にしています」



春田 耕平 氏

大学卒業後、国際農業者交流協会海外研修を経て、山梨県の農業生産法人で主に露地葉物野菜栽培に携わる。2009年に相模原市緑区長竹にて新規就農(15年目)。栽培面積は、露地野菜(葉物野菜+季節の野菜)2ha。

「ミネラルを利かして、美味しく健康な野菜を作ることを心掛けています」

主催

相模原市

企画

一般社団法人 次代の農と食をつくる会

【セミナーに関するお問合せ先】一般社団法人 次代の農と食をつくる会
〒107-0052 東京都港区赤坂3-19-1 東京農村4F
電話：050-5375-8260(事務局 平日10-17時) info@jidainokai.com

本事業は令和5年度 農林水産省 有機農業産地づくり推進事業を活用し実施しています。